

地域 だより

みんなの



たがわジュニアリーダークラブの活躍が評価 国際ソロプチミスト田川が表彰

◆問い合わせ 生涯学習課
公民館・スポーツ係
(☎ 44-5110)

子ども会活動や地域のイベントなどでボランティア活動を行っている「たがわジュニアリーダークラブ」が、国際ソロプチミスト田川（米安真由美会長）からその活動が評価され、表彰を受けました。米安会長によると、広報たがわの特集記事（平成25年2月15日号）で同クラブの活躍を知り、田川の若者をもっと応援したいとの思いが、今回の表彰につながったということです。

同クラブのリーダー中井菜邑さんは、「住民のみなさんや子どもたちとのふれあいを通して、自分たちも少しずつ成長しているような気がします。これから地域に密着したボランティア活動をしていきたいです」と笑顔で話しました。



▲表彰状を手に、笑顔の国際ソロプチミスト田川とたがわジュニアリーダークラブのみなさん



▲慎重に狙いを定めてスティックでボールを打ち、ホールインを目指しました



グラウンドゴルフ大会に挑戦！ 田川区活性化協議会

9月16日、さわやかな秋晴れの中、田川区活性化協議会（栗本康雄会長、社会福祉部会主催の「秋のふれあい球技大会」が大藪小学校グラウンドで開催され、約30人が参加しました。

田川区では、昨年まではソフトボールで汗を流していましたが、今年はグラウンドゴルフに挑戦。参加者の大半が初めての体験ということで、田川グラウンドゴルフ協会（友松善美会長）から3人の講師を招き、スティックの握り方やルールの説明などを受けました。友松会長は「いつでも、どこでも、だれでもできるのがグラウンドゴルフの醍醐味です」と述べ、気軽に参加してほしいと呼び掛けました。

その後、3つの班に分かれ、それぞれプレーを楽しみました。いつもは家の中で過ごすことが多いという女性は「初めてでしたが、とても楽しかったです。参加して良かったです」と笑顔を見せました。



ふれあい文化祭

中央校区活性化協議会

10月27日、中央中学校でふれあい文化祭が行われました。この事業は中央中学校の文化祭の開催にあわせて、地域住民や学校、保護者が交流することを目的に毎年開かれています。

この日は、地域住民や田川小学校、中央中学校の児童生徒が制作した、水彩画や油絵、俳句、生け花など約80点の作品が中央中学校内にある世代間交流教室「三省庵」に展示されました。作品には、力強さや繊細さ、華やかさが満ちあふれていて、会場を訪れた生徒や保護者などの心を魅了していました。

また、会場の一角に設置されたスペースでは、保護者や地域住民などが弁当やお菓子をつまみながら談笑し、楽しいふれあいのひとときを過ごしました。



▲美しい作品の横でおしゃべりにも花が咲き、楽しい時間が流れました